

賤ヶ岳古戦場

余呉湖周辺は、織田信長の後継を争い、羽柴秀吉と柴田勝家が激戦を繰り広げた「賤ヶ岳合戦」の舞台です。

周辺の山々には、各武将が陣を置いた砦跡や墓などが残っており、合戦の様子を今に伝えます。

合戦で活躍した秀吉配下の武将たちは、「賤ヶ岳七本槍」として、今も語り継がれています。



天女羽衣伝説

余呉湖には、天女にまつわる伝説がいくつか残されています。一説では、天から舞い降りた天女と村人との間に生まれ



た男の子が、後の菅原道真であるという話もあり、天女が羽衣を掛けたと伝わる「衣掛柳」や幼少期の菅原道真公が預けられたと伝わる「菅山寺」など、伝説ゆかりのスポットが残されています。

余呉の羽衣伝説は、全国でも古く、奈良時代から語り継がれていると言われ、「菊石姫伝説」とともに、数多くの伝説が残る余呉湖は、神秘の湖としても知られています。



茶わん祭の館

余呉町上丹生地区では、丹生神社の大祭である「丹生茶わん祭」が概ね5年に一度行われています。3基の曳山には、数千を超える陶器をつなぎ合わせた山車飾りが取り付けられ、その高さは10mにもおよびます。山車飾りの接合方法は門外不出とされ、その美と技は連綿と受け継がれています。

茶わん祭の館では、山車や小道具、写真パネルの展示のほか、余呉の自然やまつり、暮らしなどが紹介されています。

交通のご案内



レンタサイクルのご案内

	取扱自転車	電動自転車	普通車
長 浜 駅 (オリックスレンタカー 長浜駅前西口店 ☎0749-64-5030)	○	○	○
虎 姫 駅 (虎姫駅コミュニティハウス ☎0749-73-2043)	-	○	○
河 毛 駅 (河毛駅コミュニティハウス ☎0749-78-2280)	○	○	○
高 月 駅 (高月総合案内所 ☎0749-85-6565)	○	○	○
木ノ本駅 (木ノ本駅観光案内所 ☎0749-82-5135)	○	○	○
余 呉 駅 (余呉駅 ☎0749-86-2291)	○	○	○
近江塩津駅 (近江塩津駅コミュニティハウス ☎0749-88-0989)	○	○	○
永 原 駅 (永原駅コミュニティハウス ☎0749-89-0281)	○	○	○

料金／普通自転車 1日¥500(乗り捨て料+¥800)
 電動アシスト付自転車 1日¥1,000(乗り捨て料+¥800)
 ※預かり金として別途¥800必要。(自転車返却時に返金)
 ※本人確認書類の提示が必要です。

令和2年1月時点のデータをもとに作成しています。

長浜・米原・奥びわ湖を楽しむ観光情報サイト

<https://kitabiwako.jp> 北びわこ観光



まちを熟知したガイドがご案内します。

●奥びわ湖観光ボランティアガイド協会 (平日の月・水・金 9:00~17:00)
 Tel.090-3279-6563 Fax.0749-82-5913

お問い合わせは

(公社) 長浜観光協会

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632
 Tel.0749-65-6521 Fax.0749-64-0396
 E-mail : kankou@city.nagahama.shiga.jp

鉄道を活かした湖北地域振興協議会

このパンフレットの表紙イラストは、ながはまマーチング委員会提供によるものです。

びわ湖
長 浜

余呉駅

駅からまっぴ

Tourist map around Yogo Station

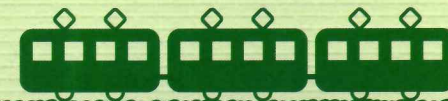
賤ヶ岳合戦と天女羽衣伝説の舞台



賤ヶ岳からの余呉湖

余呉湖周辺は、賤ヶ岳合戦と天女羽衣伝説の舞台で、
 今もその足跡が残ります。

豊かな自然が生み出す四季折々の風景と、
 いにしえから語り継がれる歴史物語を巡る旅に出かけませんか。



幾ヶ岳合戦の折、
柴田勝家を北之庄まで逃がすため
勝家の旗印「金の御幣」を預り
身代りとなって奮戦、討ち死した
若き武将。
敵の大將、羽柴秀吉も兄弟の
忠義をたたえ、手厚く葬り
遺族を厚く保護したと伝わる。

その昔、余呉湖畔の村で生まれた
菊石姫という娘が、蛇の姿になって
しまったため、自ら湖に入った悲しい物語。
世話をしてくれた下女を助けるために、
両眼を差し出した菊石姫は、時刻を知ら
ることができないため、鐘をついて 時を知らせ
たと伝わる。余呉湖畔にある目玉石には
菊石姫が目玉を投げつけた痕が残って
いるという。 また、干ばつで苦しむ村人を
助けるために、湖に身を投げ、蛇体となって
雨を降らせたといい説も伝わる。

[illegible]

余呉湖の周回 約6.4km

- 余呉駅 約3.5km → ムジナギル余呉
- 約6.5km → 茶わん祭りの館
- 約11km → 洞寿院
- 約4km → 全長寺
- 約7km → 柳ヶ瀬
- 約20km → 板ノ木峠